

梅窓院通信

No.23 2005/09/01

秋彼岸号

青山

AOYAMA

秋風うけて彼岸花

巷で流行っている絵手紙。自分の好きな絵や言葉のメッセージはIT時代だからこそ大切にしたい、心のかよう潤いの一葉です。

住職挨拶

梅窓院第二十五世
中島 真成



今年も施餓鬼会大法要が無事勤めることができました。ありがとうございます。

さて、昨年の落慶法要、今年の京都大本山での御忌法要という二つの大きな法要を終え、ようやく落ち着いたところですが、ともに長い時間を準備や修練に費やしましたが、終わってしまえば、ともにいい経験になりました。

さて、話は変わりますが、戦後間もない頃、この梅窓院には幼稚園がありました。

あまり長くは続かなかったようですが、子供たちの声が境内に響いていたそうです。

今は少子化が定着した感もありますが、やはり、子供時代の教育は大切です。色々なことを経験しておくことが後にどれだけ役に立つかは言うまでもないことです。

だから、という訳でもありませんが、今年も施餓鬼会では子供さんの一時預かり所を設置しました。十分にお知らせできず利用者はいませんでした。これらの大法要でも続けていく予定です。子供さんを預けて安心して法要に出席いただき、その後に親子あるいは、お孫さんと一緒にお墓参りしていただければと思います。

こうしたことを始め、梅窓院の行事を充実させていきたいと思っております。ご要望などお聞かせください。

病

暗闇の中でも

長野市十念寺 副住職

袖山 榮輝 上人

筆者の自坊は長野市の中心市街地にある。善光寺は目と鼻の先。一光三尊阿弥陀如来を祀るご本堂まで、歩いて十分余りである。

この善光寺如来さま、秘仏であるけれども、直接ご縁を結ぶための「鍵」が本堂の祭壇部分床下の壁に取り付けられていて、そこまでつづく地下回廊が巡らされている。

その鍵に触れば仏縁が結ばれ、極楽往生が約束されるというので、大勢の信者が「鍵」を指して回廊を巡りに行く。

これを「お戒壇巡り」と称しているが、地下回廊へと降りていく階段の入り口に、「右手を腰の高さにして廊下の右の壁を触りながらお進み下さい」との注意書きが掲げられてある。

回廊の長さは四四メートル余り。入り口付近は明るいのが、二〜三メートルも進めば一筋の光も入らない。真つ暗闇に、誰

も思わず、一寸ずりになる。

回廊は基本的に右回りを重ねるが、鍵に至るまで、左曲がりの小さなカーブが断続的に現れる。

じつは、これがくせ者で、自分がどこにいるのか、本堂に鍵に向かっているのか、次第に方向感覚が鈍っていくのである。

如来さまの鍵は、大人の腰の高さに取り付けられてある。だから、右手を腰の高さのまま右の壁から離さないのが、「お戒壇巡り」の極意となる。

しかし、はじめての人は不安になる。いや、何度経験していても不安の上ぎる瞬間がある。自分の位置を確かめようと、つ

いつい左手を伸ばしたくなるのである。しかし、そこが我慢のしどころ。万が一、右手まで離すようなことになれば事態は複雑化する。

ところで「禍福はあざなえる縄のごとし」などという。良

いし、悪いことばかりも続かない、という意味である。とはいえ、不幸のトンネルが長ければ長いほど、人は不安になり、自分に自信が持てなくなる。まして病の心細さはなおさらだろう。

積尊の教えに「それは私には戻つてこないだろうと、善を軽んずるな。しずくがおちれば、やがて水瓶もみだされる。少しづつではあつても賢者は積み上げた善に満たされるのである。」という言葉がある(『ダンマバダ』三二偈)。

自信を失い、他人がうらやましく思えても、覚りという目的を失わず、たとえ僅かでも徳を積んでいけば、いつか必ず覚ることができるという意味である。

闇の中、一寸ずりに進む善光寺のお戒壇巡りも、同じ教えが託されているように。

積尊は、「生きていく以上、病は避けられない。健康であることに自惚れるな、むしろ健康である方が希有だと思え」と諭されている。理不尽かもしれないが、人生、暗闇の方が「当たり前」なのだ。

健康だけを唯一絶対の希望とするのは、かえって迷いを深めるものになる。健康はいずれ失われるもの。むしろ、来世への希望が今日の希望を生みだすのではないだろうか。

(浄土宗総合研究所研究員)

施餓鬼会法要

7月21日 梅窓院祖師堂



詠唱の様子。法要では施餓鬼和讃を奉納いたしました。新たに講員も加わり、賑やかになりました。

六・七月の

行事報告

盂蘭盆会法要

7月13日 梅窓院本堂



多くの方と一緒に盂蘭盆会法要が行われました。

郡上おどり in 青山

6月18日・19日 境内



雨が心配されましたが、お天気もち、今年も大勢の方が訪れ、郡上踊りを楽しみました。



観音堂で開かれた物産展も大好評。傘や下駄などの民芸品も並びました。

お彼岸 Q & A

Q

彼岸の由来は？

A お彼岸とは、それぞれ春分の日と秋分の日を中日としての一週間をいい、日本独自の行事です。

その始まりは古く、聖徳太子の時代からともいわれます。平安時代初期から朝廷で行われ、江戸時代に年中行事化された歴史があります。

Q

お彼岸に食べるのは、おはぎ？
ぼたもち？

A そもそもおはぎとぼたもちの違いって何でしょう。実はこの二つは基本的に同じ物の事で、食べる季節によって呼び方が変わっていただけなのです。

漢字で書くと「お萩」と「牡丹餅」。文字からわかるように、萩の季節である秋彼岸にはおはぎ、牡丹の季節である春彼岸にはぼたもちと、使い分けられていました。

(今では便宜上、年中おはぎで通す事が多いですが。)

あずきには古くから邪気を払う食べ物としての信仰があり、先祖の供養と結びついて、お彼岸に食べられるようになったと言われています。

塔婆お申込み方法

同封のがきを使い9月12日必着でお申込み下さい。塔婆回向料は1本7千円とさせていただきます。

お支払方法

同封の振込用紙で郵便局にてお支払い頂くか、当院受付までお持ち下さい。(銀行でのお振込みは出来ません。)

秋彼岸法要

九月二十二日 (金)

彼岸寄席

午後一時～一階観音堂

秋彼岸会法要

午後二時～二階本堂

まもなく
秋のお彼岸を迎えます。
ご家族そろって
ご先祖様をお参りしましょう。

お檀家様へお願い
九月二十日から二十六日まで、
境内駐車スペースは、お体のご不自由な方、車椅子をお使いの方の車を優先とさせて頂きます。ご協力お願いします。

秋彼岸に寄せて

今、これを読んでいる皆様方は幸せです。何故なら、生きていらっしゃるからです。

命に対する考え方が、余りにも軽くみなされているような痛ましい事件が目につきますし、日本では年間三万人以上の方が、自ら命を絶っています。お彼岸によせて、いまま一度、命について考えてみたいと思います。

この世に生を受けたのは、自分の意思ではありません。沢山の条件が重なり、様々なお陰があり、天文学的な数字の確率の中から選ばれて誕生したのである。そして、日々の生活も、様々な恵まれた要素があつてこそなのです。こうした貴重な命を無駄にしてい

はずはないのです。

ですが、最近はいよいよいろいろな事故や災害や天災が発生し、絶対に安全ということは誰も言えません。平穩無事な毎日が当たり前に続くという保証は決してないのです。この保証のない生活が無事に続いている、これは本当に有り難いことで、生きているというよりむしろ生かされているわけのです。

彼岸は色々な修行のための期間ですが、浄土宗に於いてはお念仏です。皆様は普段からお念仏をお称え申し上げていると思いますが、さらに今、生かされている幸せを実感し、阿弥陀様、ご先祖様に感謝のお念仏をお称えしてみたいかがでしょうか。

(法務)



柴又駅出発。ロータリーには「フーテンの寅さん」像がお出迎え。

ぶらり門前膝栗毛 **その5**

柴又 帝釈天

日蓮宗 経栄山題経寺 京成電鉄金町線 柴又駅



お檀家さんと共にぶらりと参道を歩きます。甘味処や土産物屋が並び、あの有名な草だんごのお店もこちらにあります。

今回訪れたのはフーテンの寅さんで、おなじみ、柴又帝釈天。参道両側にはお店が並び、賑やかな下町人情を満喫できる魅力的なコースです。おなじみのお檀家編集委員のみなさんも大喜びの道中(?)でした。



勝崎先生の講座では「仏教歳時記 四季の仏教文化」をテーマに、彼岸・お盆・年送り年迎えなど、季節の身近な仏教行事について俳句の季語や、先生自作の句を交えて、解り易く御講義いただきました。古来より伝わる習俗の由来や意義を知り、目まぐるしく変わり行く現実社会で忘れがちになっている人生の豊かさについて考え知らされる思いが致しました。

新井先生の講座では「法然上人のご法語」をテーマに、法然上人の著作(手紙・問答集教義書)を取り上げて御講義いただきました。法然上人のお人柄や、相手の立場に立つて教えを説くことの大切さ、法然上人の念仏信仰の強さ、厳しさなど学ぶことができました。

去る五月十八日に新井俊定先生、六月二十七日に勝崎裕彦先生を講師にお迎えして、昨年五月より続きました平成十六年度の最後となります、第五回目の仏教講座を大勢の方々にご参加いただき、盛況裡に終えることができました。

仏教研究所だより
「仏教講座」を聴いて
仏教講座レポート

柴又帝釈天とは……

正式名を経栄山題経寺といい、江戸初期の寛永年間に創立された日蓮宗の名刹。仏法守護神である帝釈天を本尊としている。山門や帝釈堂内外には見事な彫刻が施されており「彫刻のお寺」としても有名。また、永井楽山が造園した「邃溪園」という日本庭園があり、回廊から眺める緑あふれる景色からは、都心と思えない風情も楽しめる。

帝釈天からぶらり歩いて、風が気持ちいい江戸川河川敷へ。演歌でお馴染みの「矢切の渡し」が見えます。あいにくこの日は雨天欠航で片道百円の船旅(?)は次回持ち越し。でも、3人はその風情にご満悦。



柴又帝釈天。迫力ある彫刻は「彫刻ギャラリー」で間近に見ることもできる。



帝釈天のすぐ脇の、うなぎや「柴又宮川」さんで昼食。知る人ぞ知る名店で、この店ならではの特別蒸しうなぎはふっくらやわらか、絶品です。

「ぶらり門前栗毛」編集員募集中！
私たちと一緒にお寺を訪ねて見ませんか？

お問い合わせ

梅窓院青山文化村

電話 〇三三四〇四八四四七

ぶらり俳壇

廊巡る青葉が移る邃溪園

※お寺の奥に広がる緑豊かな庭園は有料ながら一見の価値あり。日本一の南天の床柱、自然溢れる庭園、豊かな水量の池と、癒される空間が広がっていました。

風涼し本陣地下の経木彫り

※本陣とは山門正面奥にある帝釈堂のことです。その周りには法華経説話の彫刻がぐるり。彫刻は縁の下にまで、広がり、十二分に精細な彫刻が堪能できました。

ご案内頂いた執事の
向かって左から
さん、さん。

上人と山門前で記念撮影。
さん、執事、さん。



両講座とも仏教に関する学びの場でありましたが、積極的に自己を錬磨する心掛けの大切さを認識する有意義なものでした。

平成十六年度の五回の仏教講座はそれぞれ終了致しましたが、新井先生、勝崎先生には引き続き次年度の御講義をお願い申し上げますので、是非ご参加下さい。

第三十五回

念仏と法話の会

六月十日開催

三十七名の参加がありました。法話後の茶話会では、僧侶と檀家さんが楽しく歓談し、交流を深めていました。

精勤表彰者

梅窓院を囲む日々

檀家総代

■前回、この世の自分をあの世のご先祖や神仏が応援してくれるという話で終わったのですが……。

そうです。それに最近あまり言わなくなりましたが、以前は「お天道さまが見てる」ってよく言いました。私にとってあの世は空のイメージなんですけど、自分のご先祖さまたちがあの世、空からいつも自分を見ている。つまりお天道さまと一緒に、いつでもご先祖に見られていると思うと、恥ずかしいことや、いけないことはできないんですよ。

■浄土宗の極楽浄土は空にあるということですね。

難しいことはわかりませんが、あの世は必ずあって亡くなるとみんなそこへ行く。だから、自分も亡くなってあの世に行く。そして、先に行っているご先祖さまたちとまた会える。だから、この世でもいつもちゃんとしないと、あの世でおこられちゃう。

■なるほど。さんはこういう考え方をいつ頃からされているのですか？

そうですね、いつと言われても……。はつきりしませんが、ただ、今の時代の事件をみると、命を奪ったり、自ら命を断つことでこの世と断絶して、はい、終わり、という風に思えます。あの世がないとこうなってしまう。でもまたあの世でみんなと会うと思うと、今も精いっぱい生きられますでしょ。

■お墓を求められて数年で檀家総代になられたのですが、檀家総代になるにあたっての思いは？

昔からの古い檀家さんがいる中で檀家総代なんて僭越ではないかという思いはありました。梅窓院は名利で、歴史のあるお寺ですから。ですが、今回の本堂再建で、これからの新しいお寺への一歩を踏み出されると聞き、それなら、私でも少しはお役に立ててもかもしれないと思い直してお受けしました。

■平成15年に再建し、昨年落慶式。新生梅窓院ですが、歩き出した梅窓院を見ていかがでしょう？

本堂下のホールもお寺らしいイベントに使われているし、今まで同様に色々な文化教室や講演会をされていて良い感じだと思います。それに墓地もいつもきれいにしてもらっているし、お墓参りも夜でもできますでしょう。いつ行っても優しく迎えて

くれる、こういうことを続けるのは実はとても大変な事ですよ。

■ありがとうございます。今年4月、京都の大本山清浄華院で住職が御忌法要をされましたが、その団体参拝にご一緒していただきましたが、いかがでした。

浄土宗のお坊さんは、宗祖っていうんですけど、浄土宗を作った法然上人のことを忘れずにこうして法要しているのか、とちょっと感動しました。

■最後にこれからの梅窓院について何かアドバイスをいただけますでしょうか？

基本的にはこれまでで良いと思いますが、せっかく色々な方が檀家さんにいらっしゃるんですから、そうした方たちとコミュニケーションをとっていくのがいいと思いますね。世間一般ではお寺離れが進んでいると聞きますが、ヨーロッパでは逆に教会に人が集まっているそうです。でもどの教会にでもではなく、ある程度場所が良くて、落ち着ける空間がある教会だそうです。

梅窓院の場所はこれ以上ない良い立地ですから、空間やイベントをうまくコーディネートすれば新しいお寺の形を作れるのではないのでしょうか。

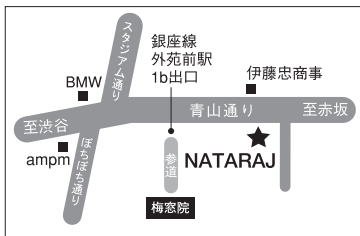
■実はこのお寺の新聞『青山』もそうした檀家さんとのコミュニケーションの役割を果たすのが目的です。いろいろアドバイスいただけますでしょうか。

もちろんです。手伝えることがあれば何なりと。

■ありがとうございます。こうしてお話を聞かせていただいた上にそう言っていただけ心強い限りです。本日は本当に大変ありがとうございました。

プロフィール

1950年仙台市生まれ
SBSアナウンサー、「女性自身」記者を経て、出版、映像、文化イベント等を数多くプロデュース。企業や地域のコミュニケーション・PR戦略の立案、地域計画、施設計画にも意欲的に取り組んでいる。
「2007年ユニバーサル技能五輪国際大会」(史上初の「技能五輪国際大会」と「国際アビリンピック」の同時開催)
総合プロデューサー。



営業時間/11:30~23:00 (L.O 22:30)
(平日の15:00~17:30を除く)
住所/東京都港区南青山2-22-19 B1F
TEL/03-5474-0510
HP/http://www.nataraj.co.jp



インドアートも楽しめる店内。



素材を活かした豊富なヘルシーメニュー。

自然派インド料理

ナタラジ

南青山店

体に良い物をモットーとする
インド人オーナーが
五年前にオープン。

化学調味料は使わず、自家
農園の有機無農薬野菜を使っ
たり、十時間以上かけて天然
酵母を発酵させたナンを焼き
上げたりと体に嬉しい。
カレーは、スパイスの組み
合わせや作り方が全て違い、
甘口から辛口まで二十種類以

上あり、年配の方から、子供
まで幅広い年代に人気がある。
お勧めはナタラジカレー。
お肉の食感を味わえる大豆グ
ルテン入りのヘルシーなカレー
だ。深いコクを感じ、体の中
から綺麗になれるような気が
した。
ランチセット 一〇〇〇円
ナタラジカレー 九五〇円

青山俳壇

選者「ウエップ俳句通信」編集長

大崎紀夫

◎特選

○ 薫風や琵琶湖をめぐるイヤリング

(評)さわやかな初夏の風に吹かれて、ちよと目立つイヤリングをし
た作者、あるいは若い女性が琵琶湖巡りをしているのでしょう。明る
く気分のいい句です。

◎佳作

○ 法師の湯丸太枕に河鹿聴く

○ 菩提樹の緑蔭に猫ねむりをり

○ さざ波に苗先揺るる植田かな

○ ひとつ落ちひとつ咲きたる夏椿

○ 風呂の蓋木目に微生物まる

○ 輪のなかで少し慣れたる踊りかな

○ 丈高き孫と連れだち秋彼岸

◎選者詠

○ 雨気くるや夏うぐひすの谷わたり

(フンポイントアドバイス)

スランプにおちいったときはどうしたらいいのか、とよくきかれます。
そのときは有名な句集を読んだり、歳時記の例句をじっくり味わっ
たり、あるいは旅や散歩をして自然とゆったり向きあったりするとい
いでしょう。そうしていると自分の内に自分なりの言葉の調べ、言葉
の流れがもどってくるはずですよ。

大崎 紀夫

投句募集

今回は「秋の季語」でご自由にお詠み下さい。10月31
日を締切、12月末発送の『新年号』にて発表致します。
住所、氏名をお書き添えの上、ご応募下さい。皆さまの投
句をお待ちしております。

〒107-0062 港区南青山2-26-38
梅窓院「青山俳壇」投句募集係

「やぶれ傘」会員募集

青山俳壇の選者、大崎紀夫先生による俳句の会です。ご興味のある方は、下記の番号までご連絡下さい。

ウエップ編集室
電話03-5368-1870

茄子はまるバット

食は命

食養研究家
武鈴子

第二十回

秋といえば新そばのシーズン
です。そばは高血圧の人によい
と昔からいわれます。そばに含
まれるルチンは血管を強化する
作用があるからです。秋に一段
とおいしくなるナスにもルチン
が多く含まれています。高血圧
気味の方、血管の老化が気になる
方には良い食べ物でしょう。
ナスの効能は、「血行不良を改善
し、炎症を止め、腫れを消し、
腸を整える」と古書にあります。
栄養学的にはルチンのほかにビ
タミンA、B₁、B₂、Cなども
含まれていることが判明してい
ます。これらは皮も含めての働
きなので、皮ごと食べることが
大切です。

しかし一方で、ナスは体を冷
やす性質があります。そのため「食
べ過ぎると腹痛、下痢、女性の
場合は子宮をいためる」と、記
されています(『本草綱目』)。
ですから、冷え性の人は食べ方
に気をつけることが肝心です。
“焼きナスに生姜” “揚げナスに大
根おろし” という組み合わせは、
冷やす性質があるナスに体を温
める生姜や大根おろしなどの薬
味を添えることで、バランスが
保たれているのです。

また、ナスのヘタには虫歯を
予防し、歯痛を止める効果があ
ることから、かつて軍隊でも歯
磨き粉に、ナスのヘタの粉末を
混ぜて、歯ブラシに振りかけ、
磨いていたといひます。現在で
もナスのヘタの黒焼きと自然塩
を混ぜ合わせた歯磨き剤が市販
されています。これは歯槽膿漏
の腫れや痛みを止める効果があ
ります。

行事予定

秋彼岸会法要

9月23日(金)

寄席 午後1時～ 観音堂

法要 午後2時～ 本堂

落語

三遊亭 歌る多 師匠

1962年荒川区生まれ。1981年三遊亭圓歌師匠に入門。1993年女性初の真打ち昇進(女流杵)。2000年女流杵撤廃され、男性と同様の真打ち扱い。寄席・落語の会から、講演会・司会業、コラム執筆など活動の場は幅広い。



三遊亭 歌ぶと さん

1982年生まれ。2004年三遊亭歌武蔵師匠に入門。

第36回 念仏と法話の会

10月4日(火)

受付開始 午後12時半～

別時念仏/法話/茶話会

【講師】

宮城教区来迎寺 奥山清康上人



文化講演会

10月29日(土)

午後3時半～ 祖師堂

【講師】

浄土宗宗務総長 水谷幸正上人
俳人 黛 まどかさん

入場無料 / 先着250名様

※詳しいお申込み方法は別紙ご参照下さい。

十夜法要

11月19日(土)

法要/芋煮会/特別LIVE

※詳細は次号の十夜号にてお伝え致します。

仏教講座のご案内

梅窓院ではこの10月より、新たに仏教講座を開講する予定です。

講師は昨年度より引き続き、新井先生、勝崎先生に加えて新たに赤坂 浄土寺 御住職、阿川正貫先生にも講師をお願いしました。各先生の講題・日程も決まりました。みなさんのご参加をお待ちしています。受講希望の方は、梅窓院までご連絡下さい。



▲昨年の受講風景

講師紹介

法然上人伝を読む



新井 俊定 先生
天然寺住職
大正大学出版会主管

- 第1回 11月14日(月) 法然上人の誕生から出家まで
- 第2回 平成18年2月20日(月) 比叡山での修行から浄土宗開宗
- 第3回 平成18年3月13日(月) 念仏の教化と法難と流罪

(講師コメント)

各種の法然伝により、その生涯を概観してゆく。その際に、特に法然上人に影響を与えた人物や書物を取上げながら、念仏の教の成立背景を学ぶ。

仏・菩薩—その教えと信仰



勝崎 裕彦 先生
香蓮寺住職
大正大学教授

- 第1回 10月13日(木) 仏陀釈尊-生涯とその教え
- 第2回 12月22日(木) 大乘仏教-大いなる教え
- 第3回 平成18年2月16日(木) 大乘の如来-はるかなる教え

(講師コメント)

仏陀釈尊の教えにはじまって2500年。仏教の教えとその信仰の歩みについて、開祖釈尊の悟りの世界に導かれながら、大乘仏教の展開によって拡大した大いなる流れを通じて、わかりやすく解説したい。

中国の名寺・名山



阿川 正貫 先生
浄土寺住職
大正大学講師

- 第1回 10月19日(水) 中国の名寺・名山①
- 第2回 12月16日(金) 中国の名寺・名山②
- 第3回 平成18年2月27日(月) 中国の名寺・名山③

(講師コメント)

この講座では、中国で古来信仰を集めてきた寺院や場所をご紹介します。それにちなむお話-仏菩薩・名僧・浄土の教えなど-をしていく予定です。どうぞよろしく。

発行/梅窓院
発行日/平成17年9月1日
発行人/中島 真成
編集集/青山文化村
住所/〒107-0062 東京都港区南青山2-26-38
電話/03-3404-8447
FAX/03-3404-8107
ホームページ/http://www.baisouin.or.jp/
E-Mail/jodo@baisouin.or.jp
題字/浄土門主総本山知恩院門跡 第八十六世中村康隆 祝下

今月号の表紙を飾ったのは檀家さんの絵手紙です。秋彼岸号にふさわしい真っ赤な彼岸花を書いていただきました。最近の絵手紙ブーム、大賛成です。上手い下手に関係なく、自分で書いた絵や字からその人の思いがあらわれています。歳をとってからのパソコンもいいですが、絵手紙に挑戦するのも楽しそうです。(副)

